

地球のワクワク！発見しよう こどもエコクラブ

私が主役！なかまと一緒に未来をつくる

2020年度 事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局

<後援:環境省>

はじめに

2020年度は新型コロナウイルス感染症のパンデミックで幕を開け、全世界がその対応に追われた一年間となりました。子どもたちも、卒業式や入学式などの大切な人生の節目や、運動会・文化祭や修学旅行などの学校行事が中止になったり、従来と形が変わったりと、これまでに経験したことのない年を過ごしたことでしょう。こどもエコクラブも例外ではありません。感染対策のため学校にも満足に通えない状況の中で、大勢で集まっての活動が認められないために泣く泣く継続を見送ったクラブもありました。

全国事務局ではこのような状況下でも多くのメンバーに環境活動に取り組んでもらおうと、少人数・屋外で実践できる活動プログラムとして「葉っぱラッパーズ探偵団」を提供しました。また、直接顔を合わせなくてもクラブ同士が交流できるよう、全国フェスティバルや交流会をオンラインで開催しました。それぞれのクラブも、メールやSNSを活用するなど工夫しながら様々な活動を展開しています。オンラインの利用方法の多様化やスキルの向上は、コロナ禍がもたらしたプラスの影響といえるかもしれません。

さて昨年10月、菅総理大臣は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボン・ニュートラル」を目指すことを宣言しました。脱炭素社会に向けた取り組みをはじめとする「持続可能な開発目標(SDGs)」を実現するためのアクションを加速していくために、次の社会を担う若い世代の人づくりはますます重要になります。

こどもエコクラブは、子どもたちの主体的な環境学習・環境活動を20年以上にわたり支援してきました。クラブによる地域の環境をよりよくするための取り組み全てがSDGsのいずれかの項目に位置づけられます。2020年度は1,680クラブが登録し、86,752人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。63の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、531の地方自治体に地域事務局として地域活動を支援いただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、私たちのライフスタイルは大きく変化しました。この「新しい日常」の下で、私たちは持続可能な社会に向けてたゆまぬ歩みを進めていかなければなりません。その中心的な役割を担う未来の大人たちを育て、その輪を更に大きく広げていくために、こどもエコクラブ全国事務局は、多様な組織や人の参画と協力のもと、全国のクラブの活動を支援するとともに事業を継続・発展させる取組を2021年度以降も推進してまいります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こどもエコクラブ全国事務局



目次

◎ はじめに	3
◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション	5
◎ 2020年度のハイライト	6
◎ 事業報告	10
○ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	10
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
○ 環境活動・学習の活性化促進	16
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業との協働推進	
(5) 他団体のイベント・キャンペーン情報の提供	
(6) All Japan Youth Eco-club	
○ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	25
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
(3) 他団体からの表彰	
(4) クラブによる活動成果の発信	
◎ 地域事務局の取組事例	30
◎ 協賛・協力いただいた企業・団体	35
◎ 登録データほか	36
◎ 全国エコ活コンクール 受賞作品	40

● こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、幼児(3歳)から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

◎ ビジョン(=理想の未来)

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

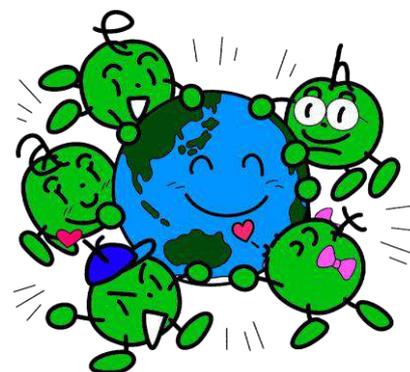
◎ ミッション(=なすべきこと)

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、2020年度は、

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて様々な活動に取り組んできました。



2020年度のハイライト

◎新型コロナウイルス感染症への対応

2020年度がスタートして早々、初めての緊急事態宣言が発出されました。外出さえもままならない中で、こどもエコクラブとして例年通りの活動を行うのは極めて難しいことでした。この状況は長期化することが予想されたため、活動できないクラブに配慮し継続届の締め切りを例年より3ヶ月延長しました。

またこのような状況の中で、未知の感染症に不安を感じる子どもたちにとって、身近な自然とふれあい、地域の環境を守るこどもエコクラブの活動が、感性を育て自己肯定感を高める上で非常に重要であると考え、感染拡大の予防と環境学習・環境活動の両立を図るために「こどもエコクラブの活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をまとめました。活動の際には本ガイドラインを参照し実情に合わせた対策を講じるよう呼びかけています。

こどもエコクラブの活動における 新型コロナウイルス 感染拡大予防ガイドライン



【ICT・オンラインの活用】

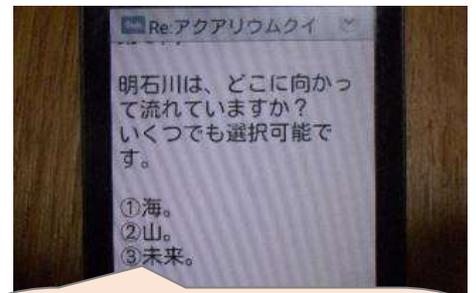
みんなで集まって活動することが難しい中、パソコンやスマホなどの機器を活用したオンラインでの活動やコミュニケーションが活発に行われるようになりました。

1. クラブの活動

(1) 玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)



一斉休校の期間中、サポーターが1日1問、メンバー宛にメールでクイズを配信しました。レベル・ジャンル別に全部で50問が出題され、各メンバーは毎日届くメールを楽しみに先を競って回答しました。クイズを通して活動で学んだことを復習したり、楽しかったことを思い出したりして、「おうち時間」を楽しく過ごすことができました。



最後の問題は、少し難しかったです。このクイズで、外出自粛で皆と会えなかったけど、会えた感じがして楽しかったです。

(2) こどもエコ広場新宿(東京都新宿区)



動画を活用したオンライン活動を行いました。メンバーは、事前に送付された工作や実験のキットを用意して講師の授業動画を視聴、講師のお手本を見ながら各自が作業を進めます。洋服の残布を利用したうちわ作り、バナナのDNAの抽出実験などを実施し、ワークシートに感想を記入するなど、活動のふりかえりもしっかり行いました。



2. 全国事務局

(1) サポーター交流会



ウェブサイトの人気コーナー「壁新聞道場！」でクラブが制作した壁新聞に助言やコメントをしてくださっている「師範」のみなさんが、オンラインでのサポーター交流会を企画・開催してくださいました(開催日:2020年12月12日)。映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」を事前に鑑賞し、その監督である佐竹敦子さんと一緒に、映画を見た感想、質問などの共有、いくつかのクラブの活動紹介を行いました。

北は青森から南は鹿児島まで、プラスチックごみという共通の関心を持つクラブが距離を越えて集い、ニューヨークにいる映画監督とリアルタイムで話し合うという、まさにオンラインでしかできない活動になりました。



(2) 全国フェスティバル



昨年度は中止となった全国フェスティバルですが、今年は各代表クラブと参加企業がウェブサイト上にブースを出展するオンライン形式で開催しました(開催期間:2021年3月20日～4月10日)。クラブのブースでは、壁新聞のほか日ごろの活動を紹介する動画や写真、全国の仲間へのメッセージなどを紹介、企業ブースには環境・SDGsの取り組み紹介、子どもたちへのメッセージなどを掲載しました。訪れた人が質問やコメントを書き込める掲示板を設置したり、誰でも回答できるクイズを出題したりして、双方向のコミュニケーション促進を図りました。



3. 地域事務局

大阪府、おおさか ATC グリーンエコプラザでは毎年、近畿地方のこどもエコクラブを対象に交流会を開催していましたが、今年度は対面での開催が困難となったためオンライン交流会を企画してくださいました。主催者である大阪府、おおさか ATC グリーンエコプラザ、こどもエコクラブ全国事務局にとってオンラインでの交流会は初めての試みです。クラブの発表をどのような形で行うのか、クラブ同士の交流をどうするのかなど想定される課題について、クラブのサポーターさんにもご参加いただきながら、何度も打ち合わせを行いました。

開催当日(2020年11月8日)は大阪府内のクラブのほか、京都府と滋賀県から全部で6つのクラブが参加、一部のクラブは会場で、一部のクラブは地元で、そして一部のクラブは屋外のイベントからの中継という形で参加しました。第一部では、それぞれのクラブが日頃の活動を壁新聞やパワーポイント等にまとめて発表する活動報告・交流セッション、第二部は参加クラブのメンバー全員が参加して全体セッションを行いました。最後に、企業の方からクラブの活動に関するコメントをいただいたほか、日頃の環境問題への取り組みについても教えていただきました。

対面交流ができない中で、第二部の全体セッションをどうするかが大きな課題でした。しかし、ファシリテーターの先生の企画による連想ゲームで盛り上がった後、自分たちのクラブの活動を他のクラブにも「やってみたい！」と思わせるアピールの仕方を考えて発表することを通して、自分たちの活動を振り返ると同時に他のクラブの活動をより深く知ることができました。最後に「身近な環境を守るために一番大切なこと」というテーマでアイデアを出し合っ、交流会を締めくくりました。



◎子どもたちの心身の健全な発達のために ～「葉っぱラッパーズ探偵団」の実施



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生じている子どもたちの屋外での活動の減少や不安・閉塞感を解消し、子どもたちの元気を取り戻し健やかな成長を図ることを目的に、文部科学省にて「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」が公募されました。そこで、校庭や庭、地域の自然公園など身近な緑のあるエリアで葉っぱや樹木に親しむプログラム「葉っぱラッパーズ探偵団」を企画、本事業の一環として採択され、こどもエコクラブの全国一斉活動として実施しました。



プログラム作成にあたっては、葉っぱの色合わせや葉っぱじゃんけんなど幼児から小学校低学年でも取り組めるもの、葉っぱのスケッチ、樹木が吸収する二酸化炭素の量の測定など小学校高学年向けのものを企画、子ども成長過程に合わせて取り組み、かつ自然を楽しみながら球温暖化防止についても考えることのできる内容を盛り込みました。特設サイトとチラシにて参加を募り、141 クラブ（一般含む）が参加、72 クラブから活動レポートが届きました。

子どもたちは、それぞれの地域で身近な緑を観察することで自然や環境への興味が深まり、屋外活動で開放感を思い切り味わっていました。



事業報告

◎環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

◎ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2020年度の合計ページビュー: 484,954PV

2020年度の合計訪問者数: 146,059 ユーザー



また Facebook や Twitter を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook「いいね!」: 1,256件
フォロワー: 1,303人(2021年3月)



各地域担当別 Twitter
地域に合わせた情報を発信
合計フォロワー数: 2,712人

◎外部メディアの活用

環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや、地方紙等へのプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞の話題を中心に各紙・メディアに記事が掲載または放映されました(主なものを抜粋)。

【新聞・テレビ】

メディア名	日付	記事・番組タイトル
読売新聞	2020年4月15日	一宮の劇団 文部科学大臣賞～「脱炭素」訴え オーディエンス賞も(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
陸奥新報	2020年4月24日	だんぶり池のカレンダー作成/HEP21(HEP21エコクラブ(青森県弘前市))
茨城新聞	2020年5月30日	自然観察ガイド養成～活動拠点や公園整備(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
茨城新聞	2020年6月3日	すぽっとライト 沼沼の魅力を伝える(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
東奥日報	2020年6月9日	小沢小に東北・水すまし賞～市民と水環境保全活動(HEP21エコクラブ(青森県弘前市))
陸奥新報	2020年6月10日	岩木川の水質は 弘前 HEP21 汚染度水位など調査(HEP21エコクラブ(青森県弘前市))
有明新報	2020年6月18日	園児の収穫体験写真に 明治幼稚園 こどもエコクラブでケニス賞(明治幼稚園(福岡県大牟田市))
東奥日報	2020年6月28日	だんぶり池研究 結実「全国エコ活コンクール」壁新聞 新設賞を受賞(HEP21エコクラブ(青森県弘前市))
陸奥新報	2020年6月28日	壁新聞タカラトミー賞～だんぶり池調査など掲載 弘前市長に受賞報告(HEP21エコクラブ(青森県弘前市))
茨城新聞	2020年6月28日	ヌマエビ、小魚に歓声 水戸 逆川で生き物観察会(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
宮城テレビ	2020年7月8日	news every. 南三陸少年少女自然調査隊(宮城県南三陸町)の活動紹介
日刊工業新聞	2020年11月6日	“自然体験”子どもに近隣学習提案
BBCびわ湖放送	2020年11月29日	第2回びわ湖チャレンジ大賞(エコアイデアキッズびわ湖通称:アイキッズ(滋賀県草津市))
茨城新聞	2021年3月14日	田中・緑丘学園が大臣賞 脱炭素チャレンジカップ(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
西日本新聞	2021年3月18日	稲栽培の記録 全国入賞 大牟田・たから幼稚園 園児が壁新聞と絵日記に(認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ(福岡県大牟田市))
有明新報	2021年3月24日	稲の栽培 細かく観察 大牟田・たから幼稚園 2部門で全国入賞(認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ(福岡県大牟田市))
市民タイムス	2021年3月29日	田中葉君と蒼君兄弟の壁新聞が大臣賞 オオタカ観察記録で(いきものみつけファーム in 松本推進協議会(長野県松本市))



茨城新聞
(2020.6.28)



有明新報
(2021.3.24)

◎イベント等への出展・参加

コロナ下で開催されたオンラインイベントに参加・出展しました。こどもエコクラブ事業の紹介や楽しく活動するクラブの写真の展示などを行い、参加・登録を呼びかけました。

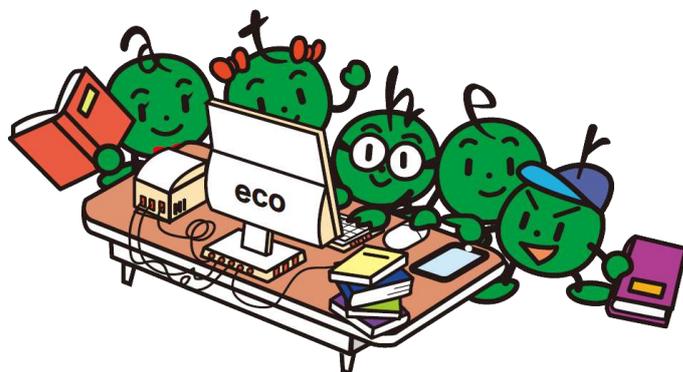
実施日	イベント名	主催者	内容
2020年 11月25～28日	エコプロ Online2020	日本経済新聞社、一般社団法人サステナブル経営推進機構	「子どもも知ってるエコマーク」
2020年 12月19日～ 2021年 1月17日	エコライフ・フェア 2020 Online	環境省	事業の仕組み、クラブの活動紹介
2020年 12月19日	ESD 推進ネットワーク全国 フォーラム	ESD 活動支援センター、 文部科学省、環境省	SDGs に関連づけたクラブの 活動紹介
2021年 1月9～14日	環境広場さっぽろ 2020 バ ーチャルツアー	札幌市	活動フォトコンテスト in 札幌



エコライフ・フェア 2020 Online



環境広場さっぽろ 2020 バーチャルツアー



◎広報ツールの貸出

地方自治体等に、広報ツール(前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等)を貸し出しました(旗等:3ヶ所、エコまる着ぐるみ:2ヶ所、壁新聞8ヶ所)。



壁新聞



エコまる旗・着ぐるみ

(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児(3歳)から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人(サポーター)で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2020年度の登録数は、クラブ数:1,680クラブ、メンバー数:86,752名、サポーター数:13,353名で、これまでの延べ登録メンバー数は約270万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

◎ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードすることができるようにしました。



ポスター



チラシ

◎メンバーズバッジの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを、新たに登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。子どもたちの一体感醸成と活動のモチベーション向上に役立っています。



※クラブの個人情報は弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。

※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.36「登録データ」を参照。

◎ 環境活動・学習の活性化促進

(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、助成金情報や地域別のイベント情報の掲載を行っています。また、「リアルヴォイス」と題して、各地で充実した活動を行っているクラブの紹介や、メンバーたちの先輩であるクラブのOB・OGの方へのインタビューなどを掲載しています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターインフォメーション」を月2回配信しています。



リアルヴォイス

(2) 教材・プログラムの提供

◎手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」を希望する未就学児がいるクラブに送りました。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」を新規登録クラブに配付しました。



メンバー手帳



エコカード



応援マニュアル

◎全国一斉活動

先述した「葉っぱラッパーズ探偵団」を、全国のこどもエコクラブの仲間が一斉に取り組む活動として実施しました。

<クラブからの活動レポート>

活動内容

秋らしく紅葉した葉っぱ、紅葉していない葉っぱ、いろいろな形や色の葉っぱを見つけました。

並べたり、比べたりしながら観察をして、最後は葉っぱを使って工作。一枚には収まらず、お話を作りながら最後は紙芝居が完成しました。

感想・気づいたこと・考えたこと

葉っぱを色やかたちで仲間分けをしました。木や草花の名前を自然に知りたくなります。今年いただいた「落ち葉のずかん」を持って行ってなかったの、家に帰ってから見てみました。絵本や図鑑でみたことがある知識も意味はあると思いますが、やはり実物を見て触れることでより一層、こどもたちの興味が深まると実感しました。



またその一環として、全国事務局主催の体験プログラムを地域・クラブの形態に合わせて全国3ヶ所(静岡県浜松市、千葉県南房総市、東京都府中市)で行いました。

実施日/実施場所	内容	活動の様子
11月1日(日) 浜松市立青少年の家 [静岡県浜松市]	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のこどもエコクラブが参加者を歓迎、子どもが考えたエコゲームを実施 ・葉っぱ探しとスケッチ、樹木の吸収するCO2について考えた。 	
11月3日(火・祝) 大房岬自然公園 [千葉県南房総市]	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度の台風災害の復旧状況を確認やビーチコーミングを実施。 ・葉っぱじゃんけん、森のビンゴで自然を満喫した。 	
11月14日(土) 府中市立府中第三小学校 [東京都府中市]	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の一環として、普段から活動している「さくらの森」で「私の木」を探した。 ・学校のシンボルツリーが吸収するCO2について考えた。 	

(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック

◎エールメッセージ

クラブから寄せられる活動レポートに対して、応援団(環境カウンセラーや協会のこども環境相談室・相談員等の環境に知見のある有識者)からのエールメッセージ(活動の発展につながるコメントやアドバイスを)、投稿後2週間以内に送付しています。2020年度は865件の投稿があり、その全てにエールメッセージをお返ししました。

<掲載例>

○葉脈の標本づくり

前に「葉っぱラッパーズ探偵団・葉っぱあわせ」で葉っぱのスケッチをしたときに、葉には細かい葉脈があることに気がつきました。そこで「子供の科学」という雑誌に「重曹で葉脈標本」という実験が載っていたのでチャレンジしてみました。実験には「硬めの葉がおすすめ」と書いてあったので、いろいろな硬い葉を集めました。サポーターと一緒に葉を重曹湯で煮て酢につけた後水洗しました。メンバーが、葉を水で洗いながら歯ブラシでトントンたたいて、葉肉を落としました。その後葉を漂白剤につけて水洗後、新聞紙の上で乾かし、画用紙に乗せてラミネートしました。お気に入りの標本は3つでき、全部南天の葉でした。

参加者のようす

・幼稚園の帰り道、実験に使う硬い葉を探してうろうろしていると、幼稚園のお友達が、「私も手伝ってあげる。」と言ってきて、硬い葉と一緒に集めてくれました。お友達は「硬い葉で何するの?」と聞いていました。

・葉肉を落とすときには、「あ、モロモロ(葉肉)がだんだんとれてきた。」と言いながら歯ブラシでトントンたたいていました。サポーターが「もうそろそろできたんじゃないの。」と言っても、「端っこにまだモロモロついてる。」と言って、きれいにとれるまで頑張っていました(写真上)。

・「うまいことできた。」お気に入りの標本が3つできると、1つは自分ので、もう1つは葉を集めるときに手伝ってくれたお友達にあげて、もう1つは幼稚園の担任の先生にわたすメッセージカードに貼ると言っていました(写真下)。

感想・気づいたこと・考えたこと

・葉肉をとるときに、葉脈が破れずに葉肉だけうまくとれるとおもしろかったです。大人が歯ブラシで葉をたたくと、力が強すぎるせいか葉脈が破れてしまうことがありましたが、メンバーの力が丁度良かったみたいです。

・今回いろいろな葉の標本を作ろうと思いましたが、南天の葉以外はうまくいきませんでした。サカキはやわらかく溶けてしまい、サザンカは歯ブラシでたたいてもカチカチで葉肉がとれませんでした。やはり葉脈標本にむく葉があるとわかりました。

・葉肉をとることは根気のいる作業でしたが、できあがると、葉脈ってこんなふうになっているのかとわかり、達成感もありきれいなので、他の葉でも挑戦したいです。



○コメント



けいちゃん たんけんたいのみんな、葉脈標本づくりの報告ありがとう!

葉脈標本、知っています。とてもきれいな資料ができますね。葉っぱの種類によって葉脈の走り方がちがいます。それから、かたい葉っぱとやわらかい葉っぱの区別もできます。作業を行うことで、見るだけでは分からない葉っぱの特徴(とくちょう)に気づくことができます。

さむい冬は生きものの動きが少ないので、野外観察からはなれがちです。でも、葉脈標本づくりのような活動なら寒くても自然のすがたを感じることができますね。ラミネートした標本は、「しおり」にも使えますから、ぜひ活用してください。

できあがった標本は、お世話になった人へのプレゼントとするようですね。ていねいに、そして一生懸命つくった思い入れのある標本ですから、受け取った人もよろこぶことでしょう! ^^次のレポートも待っています。

◎壁新聞道場

2019年度に提出された、1年間の活動をまとめた壁新聞全163作品に対して、環境に知見のある有識者（環境カウンセラーや子ども環境相談室・相談員等）による、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。

<掲載例>



とっておきのゴシドウ★

溪社さんは「異常気象が身近になってあたり前になってきているようです。こわいです」と書いてくれています。壁新聞の記事にも書かれていますが、異常気象というのは過去30年の気象データで平均して極端にずれていること。毎年のように異常気象が続くというのはおかしいのですが、平均気温が上がってしまうことで、「気候」そのものが変わってきていると言われています。

「沖縄より福岡の方が暑いなんて…」とも書いてくれています。研究によると将来は海に囲まれた沖縄の方が気温は上がらないという予測もあります。環境省が作った「2100年 未来の天気予報」という動画があります。もしまだ見たことがなかったら、ぜひ一度見てみてください。

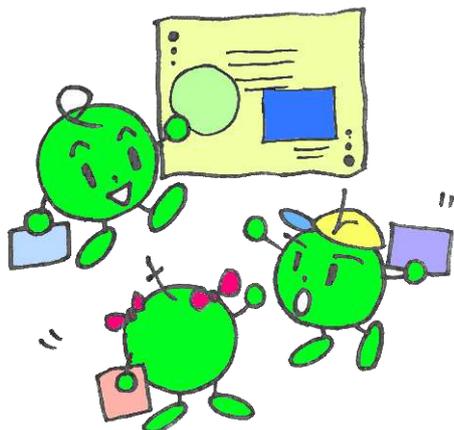
これからも、「ぼくたちができること」を続けながら、地球温暖化や天気・気候についてもっと調べてみてください。次のステップとして、みなさんが「大人になったらどんな世界になっているのかな」ということを想像して、感じたことや自分たちの意見を、周りのお友達や大人にも伝えられるとステキですね。

みなさんのこれからの活動、楽しみにしています！

【地域事務局からの応援メッセージ】

「地球温暖化」という重要な環境問題について、様々な視点からしっかりと考えられていると思います。また、「天気や水害」をテーマとした映画から2019年に雨が降った理由まで考察されておりすばらしいです。まとめとしてメンバーそれぞれが挙げている「できることを少しずつ続けること」、「大人になったらどんなせかいになっているのだろう」、「異常気象が身近になってあたり前になってきているようです。怖いです」という視点は将来の環境を考えるうえで非常に重要な視点だと思います。これからもぜひ、「できることを続けていこう!!」ことを忘れないでください。（筑紫野市）

地球温暖化による気温の上昇についてたくさん調べられていましたね。去年話題となった映画から温暖化に伴う異常気象について考察を行うのは、おもしろい取り組みだと思います。今回の壁新聞づくりで調べたことや、「ぼくたちにできること」について考えたことは、貴重な経験になりましたね。（福岡県）



(4)企業との協働推進

◎企業からの支援

2020 年度も様々な企業・団体様に、主催するコンクール等の広報活動を中心にこどもエコクラブと連携・協力していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターやコーディネーター(地方自治体のこどもエコクラブ担当者)に活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただきました。



出光興産
「環境フォト・コンテスト」



ジーエス・ユアサ バッテリー
「しげるくんエコ大使」
参加者募集



宝酒造「おうちでたんぼ体験キット」
無料配布

【アシストプログラム】

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介しています。

アシストプログラム一覧(2021年3月現在)

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	滋賀県大津市	環境学習サポーター	大津市内
	麒麟	麒麟グループ×「環境マークプログラム」 コラボプロジェクト	全国
	宝酒造	宝酒造「おうちでたんぼ体験キット」無料配布	全国
	トヨタ自動車	TOYOTA「アニマルレスキュークイズ」冊子 無料配布	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	しげるくんエコ大使	全国
体験・学習 プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	エフピコ	使用済みトレイの選別センター・リサイクル 工場見学等	センター・工場 の近隣地域
	麒麟	工場見学ツアー(全6ヶ所)	工場の近隣地 域
体験・学習 イベント	三菱電機	キッズのためのエコのわくせい	全国
	イエローピンプロジェクト	プログラミングで海のSDGs!	東京・神奈川・ 宮城

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
各種コンクール	出光興産	環境フォト・コンテスト[わたしのまちの〇と×]	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	ブリヂストン	こどもエコ絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール	全国
キャンペーン	JBRC	JBRC リサイクルクイズキャンペーン 2020 !	全国

(5)他団体のイベント・キャンペーン情報の提供

このほか、様々な団体が実施するイベントやキャンペーンの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。このような情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体にこどもエコクラブのことも知ってもらう良い機会にもなっています。

ウェブサイト掲載日	主催組織・団体	プログラム名
2020年4月13日	ちゅうでん教育振興財団	ちゅうでんリサイクル工作コンクール
2020年5月15日	NAGANO SDGs PROJECT	お家でできる SDGs に取り組もう！
2020年5月15日	愛知県	あいち環境学習プラザ 自宅講座
2020年5月26日	環境省	読本「森里川海大好き！」読書感想文コンクール 2020
2020年6月8日	環境省	全国高等学校 COOLCHOICE 漫画グランプリ 2020
2020年6月10日	富山県	スマホアプリ「ピリカ」を使って楽しくごみ拾いをしよう！
2020年7月8日	環境省	「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」キャンペーン
2020年7月16日	環境省、日本財団	秋の海ごみゼロウィーク
2020年7月17日	全国川ごみネットワーク 他	教材「海洋プラスチックごみについて考えよう」
2020年8月3日	農林水産省	夏まふり 2020
2020年8月11日	エコ・ファースト推進協議会	「エコとわざ」コンクール
2020年8月17日	福井県	福井型環境教育教材「エコワークブック」
2020年8月21日	地球温暖化防止全国ネット	脱炭素チャレンジカップ 2021
2020年9月24日	日本自然保護協会	日本自然保護大賞 2021
2020年12月10日	富山市	富山市×HELLOKITTY 動画「SDGs 未来都市 TOYAMA」
2020年12月14日	愛知県	中学生のための SDGs スタートブック
2021年1月15日	環境省	【You Tube】おしえて！カミナリ先生～気候変動×防災～
2021年1月15日	環境省	気候変動いきもの大調査
2021年3月3日	国土交通省	身近な水環境の全国一斉調査

◎Project-D

2011年の東日本大震災で大きな被害を受けた森林や樹木の再生をテーマに、こどもエコクラブを始めとする全国の子どもたちが、①被災地復興のため心一つに協力する ②遺伝子の攪乱を防ぎ、生物多様性に配慮した森林再生を行う ③子どもたちの環境、地域づくりへの理解を深めるとともに、事業に参加するこどもエコクラブのサポーターや企業担当者等の環境人材の育成を図ることを目的した事業を、2011年度から実施しています。



福島県郡山市での枝打ち作業

2020年度は、これまでに植樹をした福島県郡山市、宮城県東松島市において、生育状況の調査や苗木の健全な成長を助けるための育林活動(下草刈りや枝打ちなど)を行いました。

2020年度で東松島市での活動は終了となります。また、郡山市での活動は地元の学校法人に引き継ぎを行いました。岩手県北上市での活動は来年も実施する予定です。

(6) All Japan Youth Eco-club

環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークとして発足しました。こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

◎「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取材して活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をしたりする記事「ユースが行く！！」を3回、ウェブサイトに掲載しました。



◎研修会の講師

9月3日に開催された「茨城県地球温暖化防止活動推進員第1回全体研修会」において、ユースメンバー7名が「All Japan Youth Eco-clubによるSDGs ワークショップ」の講師を務めました。ZOOMによるオンライン開催で、各地のこどもエコクラブメンバーも視聴しました。

◎「全国フェスティバル ONLINE」への出展

ウェブサイト上で開催された全国フェスティバルにブースを出展し、All Japan Youth Eco-club の活動紹介や現役のこどもエコクラブメンバーに向けた動画メッセージなどを掲載しました。ウェブサイトには多くの現役メンバーからコメントや質問が寄せられ、ユースのメンバーが一つ一つ丁寧に回答していました。また、3月28日に同じくオンラインで開催した「全国エコ活コンクール」の表彰式では、ユースメンバーが全体司会を務めました。



◆大学生インターンの受け入れ

SOMPO 環境財団のインターンシッププログラム「CSO ラーニング制度」を通じ、こどもエコクラブ全国事務局として初めて大学生のインターンを受け入れました。2020年8月～2021年1月までの半年間、クラブへのエールメッセージの編集や体験イベントのサポートなどに奮闘してくださいました。体験イベントでは、クラブメンバーと年齢が近い素敵なお兄さんとして大人気でした。

インターンを終えるにあたりすばらしい感想を寄せてくださいましたのでご紹介します。

僕は大学で環境分野を中心に勉強させてもらっています。学べば学ぶほど、地球は大きな問題を抱えていることを実感して少し怖くなります。

しかし、前向きに、明るい未来を信じて、自分たちが地球を守っていこうと活動しているこどもエコクラブのみんなに出会えました。できることを少しずつやって地球を守っているみんなはヒーローですね。本当に見習ってみたいです。そしてこどもエコクラブの活動を本当に多くの人が支えていることもサポーター交流会などを通じて、知ることが出来ました。

インターンシップの活動は終わってしまいましたが、僕はこれからもヒーローのみんなと会いたいと思っています。どんな形で会えるかはわかりませんが、一番は、これからも環境教育に関わって、一緒に活動できればいいと思います。

そう思えたのも、この半年間、皆さんに出会えたおかげです。ありがとうございました！応援し続けます、また会いましょう！

◎環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ



(1) 地域活動活性化

◎サポーター交流会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちを支えてくださっているサポーターへの働きかけが重要です。今年度はP.7で紹介したとおり、初めてオンラインでのサポーター交流会を開催しました。全国のサポーターが集う交流会は、これまで全国フェスティバルに合わせて行うしかありませんでしたが、オンラインという選択肢ができたことにより、今後は地域を越えた交流も進められそうです。



各地のこどもエコクラブで活動する子どもたちの成長を支える柱となるのがクラブのサポーターです。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。

◎こどもエコクラブ交流会

新型コロナウイルス感染症のために対面での交流会が難しい状況の中、大阪府のようにオンラインでの交流会を企画したり(P.8)、県が主催する SDGs イベントの中で活動発表会を行ったり(岡山県)、クラブの活動を紹介する動画を制作したり(札幌市,P.12)と、様々な工夫をして交流の機会を提供してくださった自治体も多くありました。三重県では、お正月飾りの工作キットをクラブに送付し、作り方を説明した動画を見ながら各自が作業して、できあがった作品の写真をウェブサイトで見せ合う形での交流会を開催、11クラブ、43名のメンバーが参加しました。

群馬県では、例年1月に開催していた交流会は中止となったものの、夏休みの学習会は予定通り実施されました。参加人数を2クラブ、30名程度に抑え、森林観察会や木工工作などを楽しみました。



岡山県「こどもエコクラブ交流学習
in 未来わくわく SDGs フェスタ」



群馬県こどもエコクラブ学習会
「おもしろ体験してみ隊」

(2)全国規模での交流と顕彰



◎全国エコ活コンクール

子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を企画しました。今年度からこどもエコクラブ以外にも対象を拡大し、全国の環境活動を行う子どもたちのグループから活動をまとめた壁新聞を、個人に対しては絵日記を募集しました。

子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記の優秀賞等を選定しました。

■募集概要

- 募集期間：2020年10月10日～2021年1月15日
- 対象：全国のこどもエコクラブ
- 仕様：壁新聞－模造紙大またはA2サイズ、縦横自由
絵日記－A3サイズ、縦
- その他：複数枚の応募可能

■募集結果

- 壁新聞 応募数：113枚
- 絵日記 応募数：251枚

■審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P.40 参照

◎アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証[※]」を作成し、1年間に5回以上の活動を報告したメンバー(1,946名)に授与しました。

また、3年間継続活動をしているメンバー(148名)には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー(24名)には、金バッジを授与しました。

※年間5回以上の活動報告を行い、申請があったメンバーに授与。



◆環境大臣賞(壁新聞)



アースレンジャー認定証/金・銀バッジ

◎「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2021ONLINE」の開催

P.7 の通り、今年度の全国フェスティバルは全面オンラインでの開催となりました。開催期間中のウェブサイト訪問者数は 8,654 人、ページビュー数は 23,693 でした。クラブ・企業ブースには合計 462 件の質問やコメントが寄せられ、ウェブサイトを通してクラブ同士、企業とクラブとの交流が深まりました。



<コメントの例>

県内のいろいろな場所での活動素晴らしいです！エコマーク集めと書き初めには感激しました。ありがとうございます!!

コメントありがとうございます！エコマークがすために、パパと色んなところに行きました！エコマークがつけられた理由を勉強して、こういう凄いことをやっている会社なんだと感動することも多かったです。自分にとって思い出のあるマークです！



◎「全国エコ活コンクール」表彰式

2021年3月28日、「全国エコ活コンクール」の表彰式をオンラインで開催しました。壁新聞部門・絵日記部門の受賞者が各地から参加し、お祝いの言葉と表彰状を読み上げてもらった後、活動発表を行いました。イベントの様子は You tube でライブ配信し、遠方のおじいちゃんおばあちゃんにも喜んでいただきました。

また、環境副大臣から大臣賞を受賞いただいたやエコクラブと全国のこどもエコクラブに励ましのメッセージをいただき、ウェブサイトに掲載しました。



環境大臣賞 だいやエコクラブ
(長崎県佐世保市)



文部科学大臣賞 いきものみつけファーム in 松本
推進協議会(長野県松本市)



こどもエコクラブのみなさん、こんにちは。環境副大臣の笹川博義です。
こどもエコクラブの皆さんにはいつも明るく元気に環境保全活動をしてくれてありがとうございます。
またこの度は、全国エコ活コンクールで「環境大臣賞」を受賞した長崎県佐世保市の「だいやエコクラブ」さん、おめでとうございます。
「だいやエコクラブ」さんは、サステナブルを切り口に地球温暖化防止につながる様々な活動にチャレンジしていて、とても素晴らしいですね。自分たちで考えたエコツアーを周りの人々に向けて発信するなど、アピール力も満点です。これからも地域や周りの人達を巻き込みながら、大いに活動を広げていてもらいたいと思います。

(3)他団体からの表彰

2020年度も、多くのクラブがコンクールで受賞したり、長年の活動を評価されて表彰を受けたりしました。その一部をご紹介します。

都道府県	市区町村	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	文部科学大臣賞	脱炭素チャレンジカップ 2021
埼玉県	さいたま市	浦和実業学園中学校・高等学校(社会科同好会)	環境教育体験活動優良事例	環境省
富山県	高岡市	高岡市立中田中学校 科学部	研究者・研究機関部門 優秀成果表彰	河川財団
富山県	高岡市	高岡市立中田中学校 科学部	優秀賞	ニューエコライフ実践アイデアコンテスト
静岡県	浜松市	浜松グリーンウエーブ株式会社	環境教育体験活動優良事例	環境省
静岡県	牧之原市	まきのはら水辺の学校	環境教育体験活動優良事例	環境省
愛知県	田原市	環境ボランティアサークル 亀の子隊	あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス	愛知県・名古屋市
三重県	津市	なひがんばる隊	文部科学大臣賞	ぼうさい探検隊マップコンクール
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	最優秀未来へのはばたき賞、オーディエンス賞	脱炭素チャレンジカップ 2021
兵庫県	芦屋市	グリーンキッズ	環境保全功労者知事表彰	兵庫県・ひょうご環境創造協会他
兵庫県	芦屋市	グリーンキッズ	ひょうご県民ボランティア活動賞	兵庫県
山口県	周南市	ガールスカウト山口県第3団	審査員特別賞	ぼうさい探検隊マップコンクール
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	未来賞	未来をまもる子ども作文コンクール 2020
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	グリーンクロスインターナショナル賞	「みどりの小道」環境日記コンテスト
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)	環境教育体験活動優良事例	環境省
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島市立西伊敷小学校エコクラブ	【団体の部】東京都知事賞 【個人の部】審査委員長特別賞	「みどりの小道」環境日記コンテスト

(4) クラブによる活動成果の発信

活動の成果を書籍や印刷物等にまとめたり、他のクラブでも実施できるプログラムにしたりするクラブもありました。環境活動の環を広げる上で大きな役割を果たしています。

都道府県	市区町村	クラブ名	活動内容
茨城県	水戸市	逆川子どもエコクラブ	「第2回世界環境サミット in SDGs Virtual City」での講演(サポーター)
茨城県	水戸市	逆川子どもエコクラブ	「第3回世界環境サミット in SDGs Virtual City」での活動発表(メンバー)
兵庫県	神戸市	たけのこさいえんす	おうち DE 実験レポートコンテストの開催
和歌山県	上富田町	あっそ児童館エコクラブ	季節のイベント防災カレンダーの制作
島根県	出雲市	上津探検隊	書籍『それゆけ！上津探検隊—ビオトープ「カエルランド」の巻—』出版
高知県	香美市	香美市子どもエコクラブ	ゲーム型教材「エコポリー」の制作・配布



逆川子どもエコクラブ
(茨城県水戸市)



上津探検隊
(島根県出雲市)

地域事務局の取組事例

地域事務局においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。

(1) 子どもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載

◆広報紙・ウェブサイト等

6月は環境月間 身近な取り組みから始めよう

プラスチックの使い方を直そう

プラスチックは生活に欠かせないものである一方、海洋プラスチックごみ問題や地球温暖化の原因ともなるなどの課題もあります。プラスチックの資源的な利用を促進するため、7月1日(金)から7月31日(金)まで、環境のためにプラスチックの使い方を直していきましょう。

ごみ分別の3つのポイント

問合せ：環境事務局 ☎5984-1059

第1の点 ごみの箱をそろそろ(リデュース)

マイバッグやマイボトルを持ち歩き、不要なレジ袋や使い捨てプラスチック、ストローを思い取らないようにしていきましょう。

第2の点 繰り返し使おう(リユース)

地域のイベントや会社で、リサイクルセンターのリユース会場を利用するなど、繰り返し使える容器を使いましょう。

第3の点 資源として直そう(リサイクル)

適切な分別をして、資源リサイクルの徹底にご協力ください。

身近な取り組みを直そう(リデュース)

問合せ：リサイクルセンターでは、リユース会場の直し出しを行っています。

東京都練馬区「ねりま区報」

地球にいいことはじめよう!
子どもエコクラブ募集中!

子どもエコクラブってなに?

幼稚園から高校生まで、誰でも参加、参加できる環境活動のクラブです。地域や学校、家庭の中で子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切にすることや問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の輪を広げることを目的としています。

参加するには…

メンバー(3～18歳)と、サポーター(保護者や先生など活動を支援する20歳以上の大人)が1人以上いれば登録できます。
★活動は随時受け付けています。
※登録料・年会費は無料!
●子どもエコクラブサイトから登録いただくか、環境政策課に登録用紙を提出してください。
登録先：子どもエコクラブ全国事務局
http://www.j-ecoclub.jp/

登録すると…

活動に役立つツール(活動記録シートやメールアドレス)が送れます。
活動を報告するとスタンプが貰えます。5個集めると「アースレンジャー」に出来ます!

おたすね/環境政策課 ☎21-6535

2020.10 広報いずも

島根県出雲市「広報いずも」

子どもエコクラブ情報2020

2021年04月16日 | コンテンツ番号: 47840

子どもエコクラブとは?

子どもエコクラブは、子どもたちが人と地域の関わりについて幅広い理解を深め、地域の環境保全活動の輪を広げることを目指す。(事務局：公益財団法人日本環境協会)

● 子どもエコクラブ事務局は平日9時から17時まで受付しています。相談は24時間、環境保全の活動の輪を広げることを目指す。

● 詳しくは「子どもエコクラブ全国事務局のサイト」

秋田県 ウェブサイト

子どもエコクラブ

子どもエコクラブについて

子どもエコクラブは、幼稚園から高校生まで誰でも参加できる、環境活動のクラブです。地域や学校、家庭の中で子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切にすることや問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の輪を広げることを目的としています。

参加するには…

メンバー(3～18歳)と、サポーター(保護者や先生など活動を支援する20歳以上の大人)が1人以上いれば登録できます。
★活動は随時受け付けています。
※登録料・年会費は無料!
●子どもエコクラブサイトから登録いただくか、環境政策課に登録用紙を提出してください。
登録先：子どもエコクラブ全国事務局
http://www.j-ecoclub.jp/

登録すると…

活動に役立つツール(活動記録シートやメールアドレス)が送れます。
活動を報告するとスタンプが貰えます。5個集めると「アースレンジャー」に出来ます!

岐阜県岐阜市 ウェブサイト

子どもエコクラブ

子どもエコクラブってなに?

幼稚園から高校生まで、誰でも参加、参加できる環境活動のクラブです。地域や学校、家庭の中で子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切にすることや問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の輪を広げることを目的としています。

参加するには…

メンバー(3～18歳)と、サポーター(保護者や先生など活動を支援する20歳以上の大人)が1人以上いれば登録できます。
★活動は随時受け付けています。
※登録料・年会費は無料!
●子どもエコクラブサイトから登録いただくか、環境政策課に登録用紙を提出してください。
登録先：子どもエコクラブ全国事務局
http://www.j-ecoclub.jp/

登録すると…

活動に役立つツール(活動記録シートやメールアドレス)が送れます。
活動を報告するとスタンプが貰えます。5個集めると「アースレンジャー」に出来ます!

大阪府 ウェブサイト

子どもエコクラブ

子どもエコクラブについて

幼稚園から高校生まで、誰でも参加、参加できる環境活動のクラブです。地域や学校、家庭の中で子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切にすることや問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の輪を広げることを目的としています。

参加するには…

メンバー(3～18歳)と、サポーター(保護者や先生など活動を支援する20歳以上の大人)が1人以上いれば登録できます。
★活動は随時受け付けています。
※登録料・年会費は無料!
●子どもエコクラブサイトから登録いただくか、環境政策課に登録用紙を提出してください。
登録先：子どもエコクラブ全国事務局
http://www.j-ecoclub.jp/

登録すると…

活動に役立つツール(活動記録シートやメールアドレス)が送れます。
活動を報告するとスタンプが貰えます。5個集めると「アースレンジャー」に出来ます!

福岡県春日市 ウェブサイト

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	—	埼玉県	所沢市	長野県	茅野市	鳥取県	—
北海道	札幌市	埼玉県	深谷市	長野県	佐久市	島根県	—
北海道	函館市	埼玉県	戸田市	長野県	千曲市	島根県	松江市
北海道	小樽市	埼玉県	朝霞市	岐阜県	岐阜市	島根県	浜田市
北海道	室蘭市	埼玉県	久喜市	岐阜県	可児市	島根県	出雲市
北海道	釧路市	埼玉県	吉川市	静岡県	—	岡山県	—
北海道	北見市	埼玉県	寄居町	静岡県	浜松市	岡山県	倉敷市
北海道	網走市	千葉県	—	静岡県	沼津市	岡山県	浅口市
北海道	羽幌町	千葉県	市川市	静岡県	富士市	広島県	—
青森県	—	千葉県	船橋市	静岡県	藤枝市	広島県	広島市
青森県	青森市	千葉県	佐倉市	静岡県	湖西市	山口県	—
青森県	八戸市	千葉県	習志野市	愛知県	—	山口県	宇部市
岩手県	—	千葉県	市原市	愛知県	岡崎市	山口県	山口市
岩手県	盛岡市	千葉県	八千代市	愛知県	一宮市	山口県	岩国市
岩手県	遠野市	千葉県	香取市	愛知県	半田市	愛媛県	今治市
岩手県	雫石町	東京都	中央区	愛知県	春日井市	愛媛県	西条市
宮城県	—	東京都	新宿区	愛知県	豊田市	高知県	—
宮城県	石巻市	東京都	江東区	愛知県	江南市	福岡県	—
宮城県	気仙沼市	東京都	中野区	愛知県	稲沢市	福岡県	北九州市
宮城県	利府町	東京都	豊島区	愛知県	日進市	福岡県	大牟田市
秋田県	—	東京都	北区	愛知県	東浦町	福岡県	筑紫野市
秋田県	秋田市	東京都	練馬区	三重県	—	福岡県	春日市
秋田県	横手市	東京都	八王子市	三重県	津市	福岡県	大野城市
秋田県	由利本荘市	東京都	武蔵野市	三重県	松阪市	福岡県	太宰府市
山形県	—	東京都	調布市	三重県	鳥羽市	福岡県	朝倉市
福島県	—	東京都	町田市	三重県	志摩市	佐賀県	—
福島県	福島市	東京都	稲城市	滋賀県	—	佐賀県	佐賀市
福島県	会津若松市	神奈川県	横浜市	滋賀県	大津市	長崎県	—
福島県	いわき市	神奈川県	相模原市	滋賀県	草津市	長崎県	長崎市
福島県	喜多方市	神奈川県	横須賀市	京都府	木津川市	長崎県	佐世保市
茨城県	—	神奈川県	平塚市	大阪府	—	長崎県	大村市
茨城県	日立市	神奈川県	藤沢市	大阪府	大阪市	熊本県	—
茨城県	北茨城市	神奈川県	茅ヶ崎市	大阪府	堺市	熊本県	八代市
茨城県	ひたちなか市	神奈川県	大和市	大阪府	吹田市	熊本県	人吉市
栃木県	—	神奈川県	綾瀬市	大阪府	高槻市	大分県	—
栃木県	宇都宮市	新潟県	—	大阪府	茨木市	大分県	大分市
栃木県	栃木市	新潟県	長岡市	大阪府	寝屋川市	大分県	日田市
栃木県	真岡市	新潟県	柏崎市	大阪府	大東市	宮崎県	—
栃木県	那須烏山市	富山県	—	大阪府	東大阪市	宮崎県	宮崎市
群馬県	—	富山県	高岡市	大阪府	交野市	宮崎県	都城市
群馬県	前橋市	石川県	金沢市	大阪府	阪南市	鹿児島県	—
群馬県	高崎市	福井県	—	兵庫県	神戸市	鹿児島県	鹿児島市
群馬県	伊勢崎市	福井県	永平寺町	兵庫県	姫路市	鹿児島県	指宿市
群馬県	太田市	山梨県	—	兵庫県	尼崎市	鹿児島県	霧島市
埼玉県	—	長野県	—	兵庫県	伊丹市	沖縄県	—
埼玉県	さいたま市	長野県	長野市	兵庫県	加古川市	沖縄県	那覇市
埼玉県	川越市	長野県	松本市	奈良県	奈良市	沖縄県	浦添市
埼玉県	川口市	長野県	岡谷市	和歌山県	—		

(2) 地域クラブのメンバー募集と運営

群馬県前橋市 クラブページ

東京都板橋区 クラブページ

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	北見市	千葉県	習志野市	長野県	岡谷市	滋賀県	大津市
宮城県	南三陸町	東京都	中央区	長野県	飯田市	京都府	木津川市
福島県	福島市	東京都	新宿区	静岡県	浜松市	大阪府	大阪市
栃木県	宇都宮市	東京都	荒川区	静岡県	富士市	兵庫県	神戸市
群馬県	前橋市	東京都	板橋区	静岡県	藤枝市	兵庫県	たつの市
埼玉県	坂戸市	東京都	調布市	愛知県	豊田市	鳥取県	米子市
千葉県	市川市	神奈川県	鎌倉市	愛知県	長久手市	沖縄県	南風原町

(3) ニュースレターの発行

群馬県子どもエコクラブ サポーターズ・ニュース

新潟県子どもエコクラブ サポーターズ・ニュース

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
群馬県	—	新潟県	—	三重県	—

(4) 交流会等 環境イベントの開催

IGRいわて銀河鉄道で行く「親子御所野縄文遺跡体験交流会」開催!!

エコいっしょん (2005年10月20日・22日)

※※こどもエコクラブ交流会※※
IGRいわて銀河鉄道で行く「親子御所野縄文遺跡体験交流会」開催のご案内
開催日:令和2年11月8日(日)
参加料金:無料
定員:先着順子10組20名様
申込期間:令和2年10月31日(土)
主催:お問合せ・お申込先:津軽学習交流センター
IGRによって御所野遺跡を訪ね、縄文時代の生き方、文化をみんなと一緒に体験し、学びを深めましょう!
詳細は下記チラシ参照の事

岩手県
こどもエコクラブ交流会



秋田県
壁新聞展示会

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	札幌市	群馬県	—	岐阜県	岐阜市	島根県	—
岩手県	—	埼玉県	川越市	三重県	—	岡山県	—
秋田県	—	神奈川県	相模原市	大阪府	—	広島県	広島市

(5) クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等

活動支援

秋田県ではこどもエコクラブ登録団体の活動を支援しています。

- ・クラブ登録手続きの支援
- ・観察・実験器具の貸出
- ・学校教育支援校(記録簿、クラブ加入が条件)への観賞用の無償提供(1校あたり3万円程度)
- ・エココンクールの作品(原稿用紙・絵日記)の取りまとめ
- ・エココンクールで受賞した最新報・紙日誌の発行指示(6月→環境月間)
- ・こどもエコクラブを担うフェスティバル委員メンバーの原簿負担(4名まで)
- ・新規クラブ、新規メンバーへの秋田県オリジナルバンダナの提供

他にも講師の派遣、施設見学できる企業の紹介など(秋田県学術交流センター・地域の環境活動支援事業)を行っています。詳しくは下のリンク先のページをご覧ください。

秋田県
オリジナルバンダナの提供

「こどもエコクラブ」登録団体の支援について

「こどもエコクラブ」とは?

「こどもエコクラブ」とは、幼児(保育)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

- ・協賛校、小中学校、PTA、子供会、地域、各種団体等が講師として子供たちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子供たちが人と環境の関わりについて理解を深め、自然を大切に思う心や地域問題解決について自ら実行する力を育成し、地域の環境保全活動の輪を広げることを目的とするものです。

「こどもエコクラブ」の登録(全国事務局)

- ・活動する子供たちと活動を支える大人で構成されるグループが、登録の対象となります。
- ・「こどもエコクラブ全国事務局」に登録をすると、いろいろな特典があります。詳しくは [パンフレット](#) をご覧ください。

えいへいじこどもエコクラブ支援補助金について

永平寺町は、永平寺町内の幼児園、小中学校、PTA、子供会、地域、各種団体等が主体もしくは連携して活動する「こどもエコクラブ」を支援しています。

- ・永平寺町内の「こどもエコクラブ」に対して支援を行います。(上限 80,000円/年)
- ・支援を受けるには、[こどもエコクラブ全国事務局](#) に登録をして頂く必要があります。

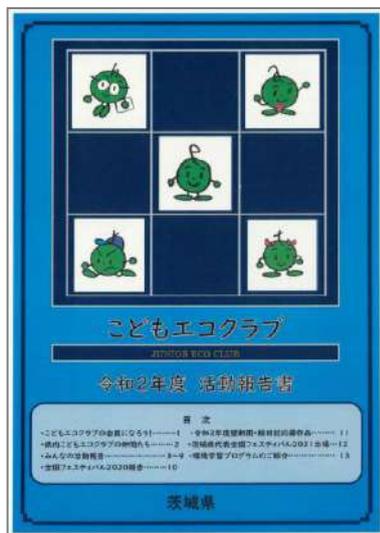
【お問合せ】永平寺町民生生活課 環境衛生室 TEL 61-3945

福井県永平寺町
「えいへいじこどもエコクラブ支援補助金」

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	東京都	練馬区	兵庫県	神戸市	佐賀県	—
宮城県	—	福井県	—	奈良県	—	長崎県	—
秋田県	—	福井県	永平寺町	鳥取県	—	熊本県	—
茨城県	—	長野県	—	鳥取県	北栄町	大分県	—
栃木県	—	静岡県	藤枝市	山口県	山口市	宮崎県	—
埼玉県	—	滋賀県	—	高知県	—	鹿児島県	—
千葉県	市川市	京都府	木津川市	福岡県	—	沖縄県	—

(6)こどもエコクラブ活動報告書等の発行・配布



茨城県



埼玉県川越市



福岡県

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
秋田県	—	群馬県	—	三重県	—	福岡県	—
茨城県	—	埼玉県	川越市				

協賛・協力いただいた企業・団体

本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

■パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）（50社）

アース製薬	朝日テクノ	アマノ	イオン九州
イオン1%クラブ	出光興産	SGホールディングス グループ(佐川急便)	塩ビ工業・環境協会
教育出版	共立理化学研究所	キリン	グリーンクロスジャパン
ケニス	サントリー	ジーエス・ユアサ バッテリー	JTB
JBRC	清水建設	ジャパンビバレッジ グループ	住商フーズ
3R活動推進フォーラム	タカラトミー	宝ホールディングス	鉄建建設
東京国際フォーラム	東京建物	トヨタ自動車	西日本ビル代行
日本印刷産業連合会・ グリーンプリンティング 認定事務局	日本CCS調査	日本容器包装 リサイクル協会	長谷エコーポレーション
バンダイナムコ ホールディングス	ブリヂストン	文化シャッター	HOYA アイケアカンパニー
マツモトキヨシ ホールディングス	ミールケア	三井住友海上火災保険	三菱地所
三菱地所設計	三菱地所リテール マネジメント	三菱地所レジデンス	三菱電機
山田養蜂場	リード	リソー教育グループ	リトルスタジオインク
龍角散	Render		

■寄附

【企業・団体】

アポクリート	イオンファンタジー	キリンビバレッジ	熊本銀行
こくみん共済 coop (全労済)	嵯峨野	十八親和銀行	積水化学工業
大和ハウス工業	福岡銀行	プロントコーポレーション	マインズ農業協同組合
レッドキャベツ			

【個人・その他】

Tポイントジャパン	つながる募金	古本募金 (団体延べ9、個人延べ10)
-----------	--------	------------------------

この他、6名の方々からご寄附をいただきました。

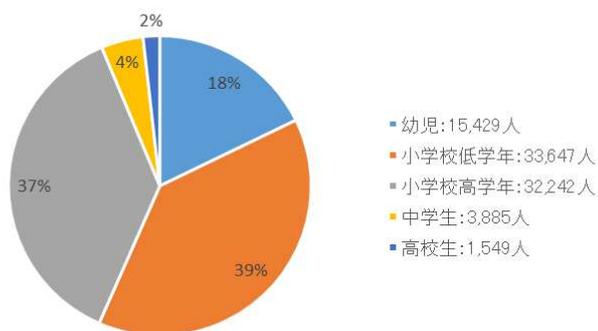
登録データほか

■ 2020 年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	21	675	108
青森県	25	1,303	228
岩手県	23	726	101
宮城県	11	2,085	261
秋田県	32	3,024	437
山形県	1	17	2
福島県	5	454	47
茨城県	34	1,529	268
栃木県	18	1,502	383
群馬県	44	1,003	198
埼玉県	120	13,941	1,769
千葉県	64	1,796	328
東京都	134	6,228	809
神奈川県	65	519	267
新潟県	23	823	87
富山県	40	1,242	186
石川県	5	102	54
福井県	10	619	120
山梨県	5	156	21
長野県	19	495	127
岐阜県	39	1,457	120
静岡県	68	2,656	725
愛知県	44	2,246	279
三重県	57	9,559	267

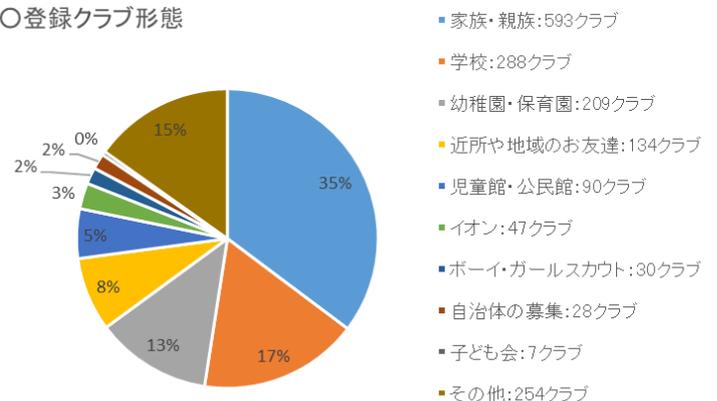
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	37	4,370	377
京都府	13	227	46
大阪府	45	3,505	258
兵庫県	202	1,858	529
奈良県	4	72	21
和歌山県	5	82	41
鳥取県	36	4,271	1,373
島根県	12	394	99
岡山県	37	2,369	450
広島県	38	718	127
山口県	11	100	49
徳島県	3	560	53
香川県	5	63	29
愛媛県	5	82	13
高知県	14	44	31
福岡県	143	5,158	1,139
佐賀県	63	3,498	705
長崎県	18	822	93
熊本県	15	753	148
大分県	27	1,413	251
宮崎県	12	630	102
鹿児島県	18	1,349	144
沖縄県	10	257	83
合計	1,680	86,752	13,353

○登録メンバー 学年内訳



合計: 86,752 人

○登録クラブ形態



合計: 1,680 クラブ

■2020年度 地域事務局登録一覧（47都道府県 484市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市	
山形県	酒田市	新庄市					
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市
	渋川市	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町	片品村
	川場村	昭和村	みなかみ町	千代田町	大泉町	邑楽町	
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市
	富士見市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市
	三芳町	小川町	吉見町	寄居町	宮代町		
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		
神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市	寒川町		
新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	十日町市	糸魚川市	妙高市
	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村	
富山県	高岡市	魚津市	砺波市				
石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町			

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	伊那市
	茅野市	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町		

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町				

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	江南市	稲沢市
	日進市	東浦町	南知多町				

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	多賀町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	吹田市	泉大津市	高槻市	守口市
	枚方市	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市
	箕面市	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町	

兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市
	宝塚市	篠山市	たつの市				

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	福津市
	嘉麻市	朝倉市	みやま市	宇美町	志免町	桂川町	香春町
	苅田町						

佐賀県	佐賀市	唐津市	鳥栖市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市
	みやき町	江北町	太良町				

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	玉名市	山鹿市
	宇土市	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町
	あさぎり町						

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

全国エコ活コンクール 受賞作品

■ 壁新聞部門

環境大臣賞



タイトル:「こどもサステイナブル新聞2020」
だいやエコクラブ(長崎県佐世保市)

文部科学大臣賞



タイトル:「オオタカの生態新聞」
いきものみつけファームin松本推進協議会
(長野県松本市)

消費者庁長官賞



タイトル:「三ツ星エコラボ(研究室)新聞」
三ツ星エコクラブ(新潟県魚沼市)

こくみん共済 coop 賞



タイトル:「多様性の海へ」
南三陸少年少女自然調査隊(宮城県南三陸町)

タカラトミー賞



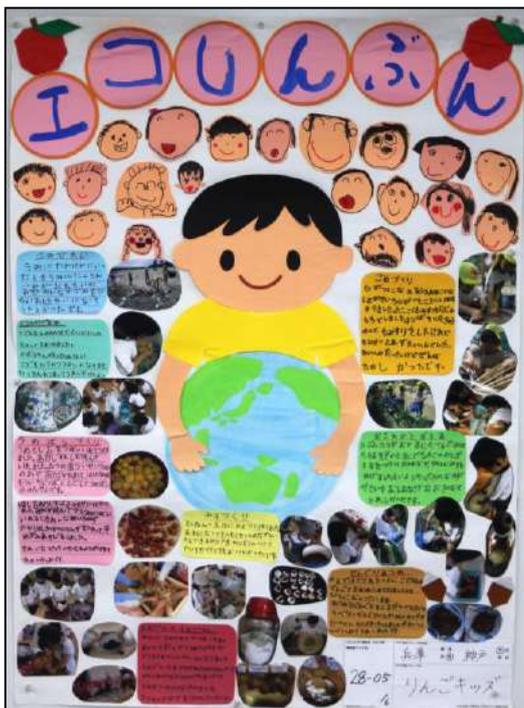
タイトル:「姫城中エコ新聞〜学校全体でエコ活動
に取り組む〜」
姫城中学校 姫ボラ(宮崎県都城市)

日本環境協会賞



タイトル:「三重中学校・高等学校の科学技術部の活動」
三重中学校・高等学校 科学技術部(三重県松阪市)

幼児部門 「ミールケア・エコまる賞」

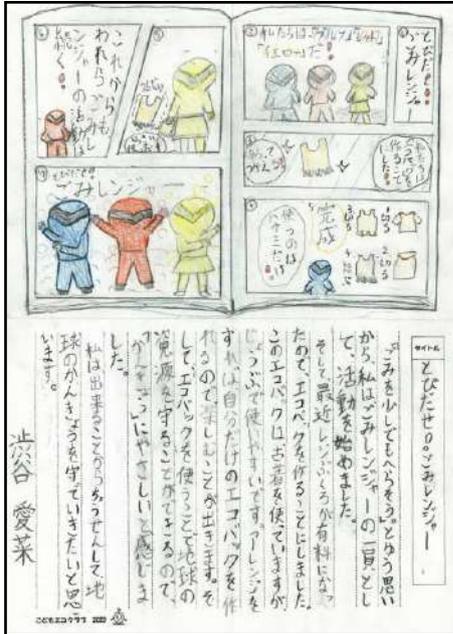


タイトル:「エコしんぶん」
りんゴキッズ(兵庫県神戸市)

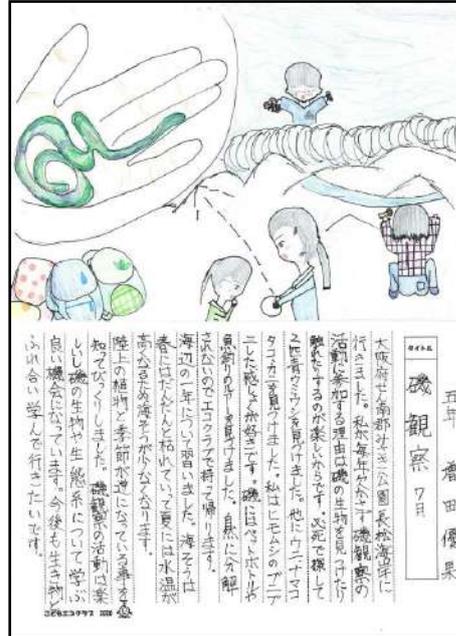


タイトル:「稲の観察日記」
認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ
(福岡県大牟田市)

■絵日記部門 優秀賞



タイトル:「とびだせ！ごみレンジャー」
 とよはるエコクラブ
 渋谷 愛菜さん(埼玉県春日部市)



タイトル:「磯観察 7月」
 せいわエコクラブ
 増田 優果さん(大阪府大阪市)



タイトル:「食べれるエコトレイ」
 成徳エコクラブ
 井奥 貴之さん(鳥取県倉吉市)



タイトル:「だっこく」
 認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ
 松本 葉愛さん(福岡県大牟田市)

地球のワクワク！ 発見しよう

こどもエコクラブ

私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

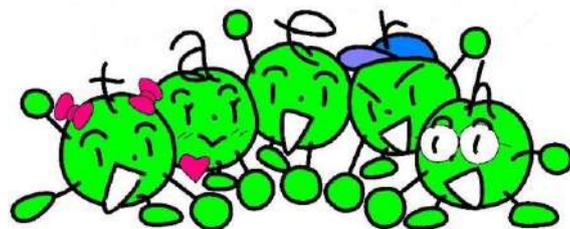
子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5
TMMビル 5階
TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp